

こっこめ通信 11 2012

「注意してみる」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

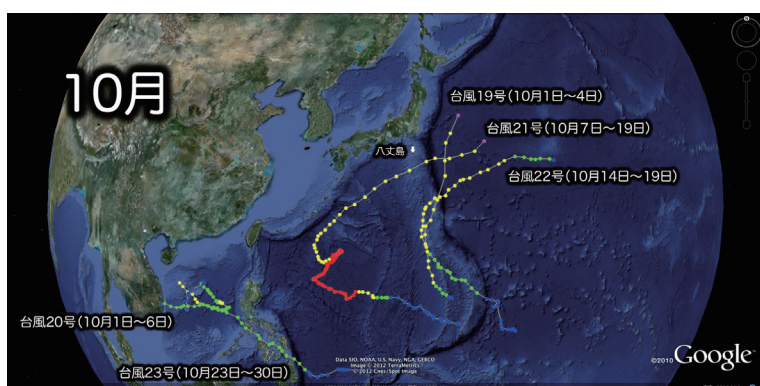
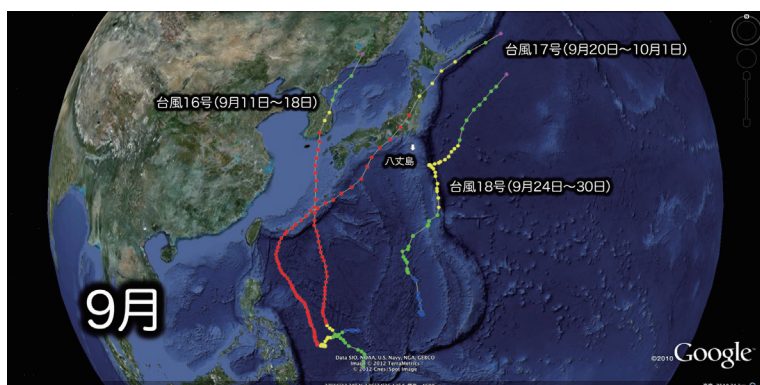
先月紹介したマガンは10月中旬には姿が見られなくなり、越冬地に旅立っていったようです。渡りから外れて八丈島にやってくる鳥たちは無事に目的地へ辿り着いているのでしょうか？食べ物があり、冬を越せるのであればリスクを冒さないで、島に残ってもいいのに不思議です。渡りを繰り返す鳥たちの遺伝子には越冬地と繁殖地の場所が組み込まれていて、そこで暮らすことになっているのでしょうか？考えると眠れなくなってしまいます。

さて今回は、「台風はもう来ないでしょう」「こんなに出ましたけど〜！」のお話です。

台風はもう来ないでしょう

9月から10月にかけて日本の遙か南で発生した台風たちは、八丈島に接近することはありませんでしたが、数日間にも及ぶ大時化の日をもたらしました。発達した台風のうねりは、かなり離れた距離でも到達します。

今回の台風では、16号・17号・21号が強い台風以上（下地図赤いマーク）に発達したため、沖縄の南方に



ある頃から八丈島へうねりが到達しました。特に17号はスピードが遅く、その間に島の東側を18号が通過するというダブルパンチで9月26日から**6日連続で定期船が欠航**し、食料が届かず、島内のスーパーの棚がガラガラになってしまう事態も起こりました。また、台風19号は近づきはしませんでした、前線が刺激され、雨風が強く**4便連続で飛行機が欠航**し、観光客の方々が島から出られない日となってしまいました。台風21号は発達したものの、停滞している間に勢力が衰え、八丈島の南を通過していきました。風はそれほど吹かないと思われていましたが、今シーズン一番になる、**最大瞬間風速 33.6m/s の北東の風**が吹きました。

今年の北西太平洋上の台風存在数（下表）を見ても、7月中旬からどこかで台風が発生していた日が多いですね。

離島は、定期船や飛行機が欠航してしまうと生活に影響が出ることが多く、今年のように頻繁に台風が発生すると大変です。今シーズンはもう台風は来ないのでしょうか？ いや、もう来ないで欲しいというのが本音ですね。

2102年10月までの台風存在数（西北太平洋上）

	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4月	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	2	2	3	1	1	2	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0

Copyright (C) 2001-2011 KITAMOTO Asanobu / National Institute of Informatics. All rights reserved.

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

こんなん出ましたけど～！

八丈島にも、“昔はいたけれど最近見ない”“昔確認されたけどそれから確認されていない”という種があります。そこで今回、偶然にもそのような生きものを確認したので紹介したいと思います。

アオイジョロウグモ *Nephila clavata caerulescens* Ono, 2011

昔々、八丈島ではジョロウグモは珍しいクモではありませんでした。しかし、原因は分かりませんが、いつの頃からか姿が見られなくなってしまう、ビジターセンターでも毎年秋になると探しているほどでした。

そして今年 10 月 11 日、島の北西にある大賀郷永郷地区にてジョロウグモを確認することができました。電線と道路脇に植えられてるハイビスカスの間に大きな網が作られ（写真右）、その中央に大きな雌のジョロウグモ、その脇には小さな雄のジョロウグモも見つかりました（写真左）。

実は八丈島と御蔵島のジョロウグモは腹部背面の黄色い部分が少ないことなどからジョロウグモの亜種「アオイジョロウグモ」として、国立科学博物館の小野展嗣博士が 2011 年に発表しています。この時は島の東側にある登龍峠で採集したジョロウグモを正模式標本として記載されたそうです。

今回見つけた種は特徴となる青い部分が多くはなかったので、さらに調査を続けたいと思います。

記載論文：(Ono, H. (2011a). New spiders of the families Tetragnathidae, Nephilidae and Clubionidae (Arachnida, Araneae) from Izu and Ogasawara Islands, Tokyo. Bull. natl. Mus. nat. Sci. Tokyo (A) 36: 15-26.)



シラガホオジロ *Emberiza leucocephalos leucocephalos* Gmelin, 1771

10 月 17 日、島の西側にある大潟浦園地でのんびりしていると、岩の近くのイネ科植物を啄む 2 羽の鳥がいました。ホオジロのような姿ですが、1 羽は喉元が赤褐色っぽく、すぐに違う鳥であることが分かりました。その鳥の正体は「シラガホオジロ」。嘴の下から喉元が赤褐色だったのはオス（写真右）で、もう 1 羽はメス（写真左）、すでに冬羽に変わっていました。

シラガホオジロは、ユーラシア大陸の中央部やサハリンなどで繁殖し、冬になると中央アジアから中国北部～中部に渡ります。日本には渡りの途中に立ち寄る旅鳥又はルートから外れる迷鳥で、北海道・本州・四国・九州・沖縄の離島など様々な場所で記録されています。

八丈島でも過去に記録があります。1924 年 11 月に 1 羽、1925 年 10 月に 1 羽の計 2 羽が捕獲され、山階鳥類研究所に標本として所蔵されています。その後は、1986 年高木真一氏の発表した「八丈島の鳥類 2 年間の記録」でも確認されています。もしかして、毎年、少数が渡って来ているが、確認できてないだけかもしれません。

残念ながら見られたのはこの 1 日だけ。その後、数日間、周辺を探しましたが見あたらず。島には、シラガホオジロの餌となるものがたくさんあるので、力を蓄えて、元気に越冬地に渡れるといいですね。



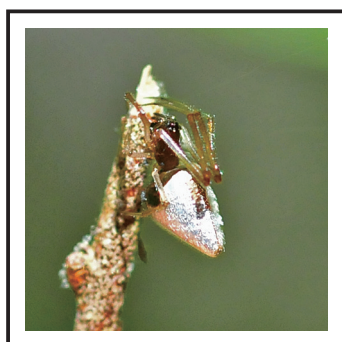
八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 10 月 14 日 (13 時 30 分～ 15 時) に行いました。

八丈植物公園季節調査 (平成 24 年第 10 回) 参加者 小林、寺尾、茂手木、菊池昭、沖山、黒田、VC 菊池

NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態
草本			36	ツルボ	実	12	トベラ	実
1	アオツツラフジ	実	37	ツワブキ	蕾	13	ハチジョウウキブシ	実と花芽
2	アオノクマタケラン	実	38	テリハノブドウ	実	14	ヒサカキ	実
3	アキノノゲシ	花	39	テリミノイヌハウズキ	花	15	ホルトノキ	実
4	アシタバ	花と実	40	テンツキ	実	16	ヤブツバキ	実が割れる
5	イガガヤツリ	実	41	トウバナ	花と実	シダ植物		
6	イヌガラシ	花と実	42	トキワハゼ	花	1	イシカグマ	
7	イヌタデ	花	43	ナキリスゲ	実	2	ウチワゴケ	
8	イワニガナ	花	44	ヌカキビ	花	3	オオイタチシダ	
9	ウスベニニガナ	花	45	ネズミノオ	実	4	オオタニワタリ	
10	ウリクサ	花	46	ノコンギク	花	5	オニヤブソテツ	
11	エダウチチヂミザサ	花と実	47	ノシラン	若い実	6	カニクサ	
12	オオアレチノギク	花と実	48	ハイメドハギ	花	7	スギナ	
13	オオバコ	実	49	ハキダメギク	花	8	タチクラマゴケ	
14	オニタビラコ	花	50	ハチジョウアザミ	花	9	タチシノブ	
15	オヒシバ	実	51	ヒナギキョウ	花	10	タマシダ	
16	カタバミ	花	52	ヒメクグ	実	11	ナチシケシダ	
17	カラムシ	実	53	ヒメジソ	花と実	12	ノキシノブ	
18	キツネノマゴ	花と実	54	フウトウカズラ	実	13	ハチジョウカナワラビ	
19	キランソウ	花	55	ブラジルコミカンソウ	花と実	14	ハチジョウシダ	
20	キンエノコロ	実	56	ホソバツルメヒシバ	実	15	ハチジョウベニシダ	
21	クグガヤツリ	実	57	メヒシバ	実	16	ハマハナヤスリ	
22	クサイ	実	58	ヤブマオ	実	17	ヒトツバ	
23	クズ	実	木本			18	ホシダ	
24	コシロノセンダングサ	花と実	1	イタビカズラ	実	19	ホラシノブ	
25	コニシキソウ	花と実	2	イヌザンショウ	実	20	マメツタ	
26	コブナグサ	花	3	イヌビワ	実	21	ミゾシダ	
27	コミカンソウ	花と実	4	オオバヤシャブシ	実	22	ヤマイタチシダ	
28	シマスズメノヒエ	実	5	オオムラサキシキブ	実	23	ワラビ	
29	ススキ	実	6	ガクアジサイ	実	今回はシダ植物 23 種を含む 97 種の植物を観察しました。バードサンクチュアリの池では 6 羽のマガンを観察しました。		
30	セイタカアワダチソウ	花	7	カラスザンショウ	実			
31	セイヨウタンポポ	花	8	サカキカズラ	蕾			
32	タチスズメノヒエ	実	9	センダン	実			
33	チヂミザサ	実	10	タイミンタチバナ	実			
34	ツユクサ	花	11	ティカカズラ	実			
35	ツルソバ	花						

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、クモの巣に居候する「シロカネイソウロウグモ」にスポットを当ててみたいと思います。



シロカネイソウロウグモ *Argyrodes bonadea*

ヒメグモ科のクモで本州以南に分布。

大きさ 2～3mm の小さなクモ。腹部は銀色で中央に黒いラインが入ります。このクモは他のクモの網の中に居候し、島ではオニグモ類やコガネグモ類、スズミグモなどの網で見られます。前のページで紹介したアオイジョウロウグモの巣にもたくさんいました。

2012 11

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
		 この色の日は 特別行事があります		1 06:38 12:02 17:35	2 07:11 00:20 18:02 12:30	3 ガイドウォーク 07:46 00:53 18:29 13:00
4 ガイドウォーク 08:25 01:28 18:58 13:33	5 09:09 02:07 19:33 14:16	6 10:05 02:53 20:23 15:25	7 立冬 11:15 03:53 22:08 17:18	8 12:25 05:11 18:59	9 00:27 06:33 13:21 19:56	10 ガイドウォーク 01:59 07:45 14:04 20:39
11 ガイドウォーク 植物公園季節調査会 03:04 08:43 14:42 21:19	12 03:58 09:33 15:17 21:59	13 04:49 10:18 15:53 22:39	14 ● 05:38 11:00 16:29 23:20	15 06:26 11:41 17:06	16 07:14 00:03 17:46 12:22	17 ガイドウォーク 秋の特別公演会 「天然記念物の野鳥たち」 08:02 00:47 18:27 13:05
18 ガイドウォーク 秋の特別行事 「ホタル水路探鳥会」 08:50 01:32 19:11 13:53	19 09:39 02:19 20:03 14:51	20 ☾ 10:32 03:10 21:13 16:09	21 11:28 04:07 23:05 17:47	22 小雪 12:24 05:17 19:11	23 ガイドウォーク 八文学講座 「公園の木を調べよう」 01:13 06:38 13:14 20:07	24 ガイドウォーク 02:39 07:52 13:58 20:48
25 ガイドウォーク 03:35 08:50 14:35 21:23	26 04:17 09:36 15:10 21:56	27 04:54 10:15 15:42 22:28	28 ○ 05:28 10:49 16:14 23:00	29 06:00 11:20 16:44 23:32	30 06:31 11:50 17:15	

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
11/11（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

東京文化財ウィーク特別行事 「講演会・天然記念物の野鳥たち」

東京文化財ウィークに合わせ、日本野鳥の会の山本裕さんを講師に招き、島の天然記念物の野鳥を中心にお話し頂きます。
11/17（19:30～ 約1時間半） 小学生以上（低学年は保護者同伴・乳幼児は不可）
ビジターセンターにて 参加費：無料 定員：55名

秋の特別行事 「ホタル水路探鳥会」

前日の講演会に引き続き、日本野鳥の会の山本裕さんを講師に招き、ホタル水路で探鳥会を開催します。
11/18（9:00～ 約2時間） 中学生以上
三根ホタル水路集合・解散 参加費：50円（保険代） 定員：20名

八文学講座 「公園の木を調べよう」

毎月行っている八文学講座。今月は、植物公園内の木の同定を行いつつ、樹名板を付けるための木を選定します。
11/24（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2012.11.1 第138号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

シケの日が続くとももちろん定期船は来ませんが、海で仕事をしている人たちが大打撃を受けます。今シーズンはダイビング業界が開店休業状態で大変だったようです。ダイバーの皆さん、そんな時はビジターの展示水槽を見て潜った気分になってみてはいかがでしょうか？（高）